

医療情報の研究利用について

| | |
|----------------------|--|
| 研究の課題名 | 人工知能技術を用いた大腸CTにおける隆起性病変の自動検出に向けた試み |
| 研究の責任者(当院) | 放射線部 佐藤 哲太 |
| 研究の対象者 | 当院で大腸CT検査と全大腸内視鏡検査をどちらも受診した患者 |
| 研究の目的 | 大腸CT検査では大腸内腔の読影を行う。内腔読影では隆起性病変の指摘が特に重要となるが、知識不足や解析経験の不足、疲れなどのコンディションにより見落とす可能性がある。そこで、昨今注目される人工知能技術を用いて読影の補助となる病変自動検出システムの構築を目指す。 |
| 調査対象データ該当期間 | 2020年1月～2024年3月 |
| 研究の方法 (使用する情報・試料) | 大腸CT検査後にZioStationで作成した仮想内視鏡像(VE)に多断面再構成画像(MPR)をフュージョン下画像を用いて深層学習を行う。 |
| 個人情報の取り扱い | 利用する情報から氏名や住所等の患者さまを直接特定できる個人情報は削除致します。また、研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さまを特定できる個人情報は利用しません。 |
| 本研究の資金源 (利益相反) | 本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません |
| お問い合わせ先 | 代表電話：0134-24-0325 倫理委員会事務局 |
| 備考 | 研究に同意しないこと又は同意を撤回することによって不利益な取扱いを受けることはありません。 個人の情報として今までの検査結果を開示することは可能です。請求人は原則的に協力者本人とし、本人以外からの請求の場合本人直筆の委任状が必要になります。開示を希望する場合、上記の問合せ先までご連絡ください。 |

